

安心安全で円滑なワクチン接種に向け 紫外線除菌庫を寄贈



(株)東海理化が社会貢献で、大口町の新型コロナウイルスワクチン接種会場で使用するトースター型の紫外線除菌庫6台を寄贈しました。

経営管理本部長 西田さんは「安心安全にワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束と、日常生活の復活を切に願っています」とあいさつ。紫外線除菌庫はワクチン接種後、町内の幼稚園(2園)と保育園(4園)で利用されます。

同社は15日(木)に、大口町と地方創生に関する包括連携協定を結び、20日(火)には、交通安全推進協議会による感謝状贈呈式もあこなわれました。

4 / 20
火



▲(株)東海理化 代表取締役社長 二之夕裕美さん

ワクチン接種模擬訓練



▲皆さんが安心して接種できるよう接種体制を構築しました

5月10日(月)から始まった新型コロナウイルスワクチン接種を前に、中央公民館で集団接種に向けた模擬訓練がおこなわれました。

町職員や町内医療機関の医師、看護師、薬剤師、民生委員が参加。訓練ではそれぞれの持ち場に職員を配置し、入館時の予約確認から検温、待合室への誘導のほか、アナフィラキシーなどアレルギーが発生した場合の対応手順や、消防職員を含めた救急搬送訓練もおこなわれました。

4 / 10
土

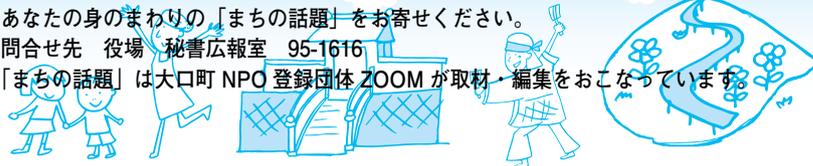
災害時に生活必需品を供給



イベントや生活用品のレンタルをしている(有)レントオール江南と大口町が、災害時における物資供給の協定を締結しました。

同社が取引網を生かし、災害発生時には、避難所に生活用品を提供します。代表取締役澤田源人さんは「災害時に、お役にたてる生活用品を迅速に提供し、少しでも地域に貢献できれば」とあいさつをされました。

4 / 27
火



南極地域観測隊越冬隊の建築・土木隊員 鈴木聡さんが鈴木町長を表敬訪問

3 / 22 月



▲南極から届いたばかりの氷

第61次南極地域観測隊越冬隊の建築・土木隊員として、任務に就かれた大口町にお住まいの鈴木聡さんが鈴木町長を表敬訪問し、南極昭和基地での貴重な体験を報告されました。ぜひ大口町の皆さんにも南極での貴重な体験を伝えてほしいとお願いし、鈴木さんよりコメントをいただきました。また、後日南極の氷をお持ちいただきました。この氷は、各小中学校で児童・生徒の皆さんに観ていただく予定です。

大口町の皆さんへ

第61次南極地域観測隊に参加させていただきまし
た、鈴木といいます。

今回、貴重な経験を皆さんに伝える機会をいただ
いたことに感謝しております。

私たちは2019年11月に出国し、2021年2
月に帰国しました。

いきなり「南極」といわれても想像するのが難し
いと思います。実際私も行くまではイメージできま
せんでした。

越冬隊として1年以上昭和基地で過ごした体験談
を伝えていきたいと思えます。

昨年、大口中学校様と南極昭和基地を繋ぎ「南極
教室」を開催させていただきました。生徒たちから
の沢山の質問に答える事ができました。

国家事業である南極地域観測の中で「観測隊」の
使命や生活に興味を持っていただき、地球環境やそ
の他多くの大事な観測があることを知ってもらえ
ばと思います。

詳しくは国立極地研究所の公式ブログ「観測隊ブ
ログ」や、私が越冬中に書いたブログ「南極クリオ
ネ月夜語り」をご覧ください。



▲南極での活動を報告をする鈴木さん



南極教室 2020!09!23

大口中学校のみなさんこんにちは。第61次南極地域観測隊越冬中の鈴木聡です。今回、地元の中学校と南極をつないで授業をすることになりました。なじみがなくてイメージしづらいと思うので、昭和基地や仕事などの動画を用意しました。一度見てちょっとだけイメージを膨らませてみてください！



自己紹介

- ・名前 : 鈴木 聡 (すずき さとし)
- ・所属 : 第61次南極地域観測隊越冬隊の建築・土木隊員
2019年11月～2021年03月
- ・出身 : 愛知県丹羽郡大口町
- ・趣味 : バイク、ギター
- ・生年月日 : 1979年05月23日(うまれの41歳)
- ・日本での仕事 : ミサワホームで建築の仕事をしてました
- ・南極での仕事 : 基本観測棟の放球デッキ建設や旧気象棟の解体工事をしたり、管理棟や居住棟などの施設の維持管理、改修をしています。
- ・家族 : 3姉妹の1人です！
- ・学校 : 尾北高等学校 卒



スマホのカメラで
読み取ってね！

基地紹介
(極地研広報)

